

RYUSHI

vol. 8 「古代ギリシア①ポリスの成立と発展」

Cf.) 読本 pp. 29-31

タペストリー pp.62-63

1. ポリスの成立と発展

○(1) **ポリス**[polis] : 古代ギリシアの都市国家

- ・ギリシア中南部、アナトリア沿岸部を中心に成立；植民地含め全体で 1500 程度のポリスが常時存在

▲小国分立状態：大平野なく、統一国家形成に至らず

- ・(2) **集住**[(3) **シノイキスモス**；(4) **前 9c-前 8c**]：土地、財産確保のため、貴族の指導下に住民が移住

▲(5) **アクロポリス**（城山）：ポリス中心部の丘；ポリス守護神の(6) **神殿かつ城塞**

▲(7) **アゴラ**（広場）：アクロポリスふもとの広場；集会、裁判、取引など公共の機能が集中

▲(8) **戦士共同体**的性格：ポリスのために戦うことが市民の第一の義務

- ・(9) **貴族政**[aristocracy]：前 7c 頃までの一般的形態；少数の門閥貴族による支配

▲(10) **市民**：(11) **自由人**；奴隷、土地（(12) **クレーロス**）を所有し農業を営む
女性に市民権なし

△(13) **貴族**：政治的な指導権を握り、ポリスの官職を独占

平民に比べ広い農地、多くの奴隷・家畜を所有

→形成された富を用いて武具、馬を所有し、(14) **騎兵**として国防担う

△(15) **平民**：(16) **独立自営**の中小農民

武具を自弁できる者は貴族とともに戦う

Cf.) (17) **無産市民**：武具を自弁できず、歩兵として参戦できない市民

- ・(18) **奴隷制**[slavery]：奴隷を労働の担い手とする社会制度；古代ギリシア・ローマが典型的

▲(19) **奴隷**：人格を認められず、財産と同様(20) **売買の対象**となる

Ex.) (21) **債務奴隷**（借財の返済ができずに市民身分から転落）、戦争捕虜、異民族など

△(22) **家内奴隷**：個人所有の奴隷

△国有奴隷：警察官、下級役人などとして働く

△農奴：市民の土地を耕作して生産物を貢納

△知的作業に従事する奴隷：読み書きを教える

- ・(23) **メトイコイ**（在留外国人）：差別受ける（土地所有禁止など）

○(24) **植民市**[Colonial cities] ((25) **前 8c 半ば-前 6c**) ギリシア人が各地に建設

- ・ポリス形成による社会の安定（＝「暗黒時代」の脱出）：人口増により(26) **土地不足**が発生

- ・本国と対等な(27) **独立国**：土地を求める下層市民、政争に敗れた貴族らが植民

経済的には母市と関係を維持する

- ・黒海沿岸：(28) **ビザンティオン**

(→ビザンティウム→コンスタンティノーブル→現イスタンブール)

- ・地中海岸：(29) **マッサリア**（現マルセイユ）、(30) **ネアポリス**（現ナポリ）、
(31) **シラクサ**、(32) **タレントウム**など
- ・エーゲ海岸：(33) **ミレトス**など

○ギリシア人の民族意識：ポリスは分立するが、言語と祖先は共通と考える

- ・(34) **ヘレネス**（ギリシア人の自称）：英雄ヘレンの子孫　Cf.) ヘラス：ギリシア人の土地
→異民族＝(35) **バルバロイ**（わけのわからない言葉話すもの）：蔑称
- ・(36) **ギリシア神話**：(37) **多神教**；(38) **人間的な神**の在り方
▲(39) **オリンポス 12 神**：(40) **ゼウス**（主神）、ヘラ（ゼウスの妻）、
アポロン（太陽・芸術）、アレス（軍神）、アテナ（英知）など
▲(41) **デルフォイ[デルフィ]の神託**：アポロン神殿の巫女を通じた神託
重要な決定に際して各ポリスが神託を仰ぐ
Cf.) 隣保同盟（アンフィクテュオニア）：複数ポリスにより神域を共同管理
Cf.) 「汝自身を知れ」：アポロン神殿に刻まれた言葉
▲(42) **オリンピアの祭典**：神域オリンピア（ペロポネソス半島北西）で4年に1度開催
△(43) **体育競技**（古代オリンピック）：一切の戦いが中止され、各ポリスから参加
△4世紀に(44) **ローマ皇帝**により中止→19c末に近代オリンピックとして復活
- ・(45) **ギリシア文字**（前8c半ば～）：アルファベット；フェニキア文字に学ぶ
▲(46) **叙事詩**：ポリス形成期の文学；神々と人間との関わりを歌う
口承詩人[アオイダス]により伝えられたものがテキスト化され残存
①(47) **ホメロス**（前8c）：英雄叙事詩
△(48) **『イリアス』**：トロヤ戦争の物語；ギリシアの英雄アキレウス
△(49) **『オデュッセイア』**：トロヤ戦争後の英雄オデュッセウスの帰還を描く
②(50) **ヘシオドス**（前8c）：農民詩人
△(51) **『労働と日々』**：怠惰な弟に労働の楽しさを教える；勤労讃え貴族を批判
△(52) **『神統記』**：ギリシア神話の神々を系統的な秩序にまとめる

2. 戦術の変化と貴族政の動揺

○(53) **重装歩兵**：武具を自弁できる平民が増加し、軍隊の主力に

- ・背景：海上交易の活発化、商工業発展
▲植民活動による海上交易の活発化：(54) **オリエント**との交易
→(55) **イオニア地方**を中心とした商業発達：余剰生産物を売却した農民が富裕化
▲(56) **金属貨幣**鑄造：(57) **リディア**から学ぶ（前7c後半）
▲金属製品（青銅製の武具）の価格低下：ヨーロッパ大陸から輸入
- ・新たな戦術：密集隊形（(58) **ファランクス**）による集団戦法
→平民の軍事参加を促進；連帯感の醸成、市民間の平等意識の高まり
→平民による(59) **参政権**の要求：国防への参与による発言権増大の欲求が高まる

RYUSHI

vol. 8 「古代ギリシア①ポリスの成立と発展」

Cf.) 読本 pp. 29-31

タペストリー pp.62-63

1. ポリスの成立と発展

○(1) _____[polis]: 古代ギリシアの都市国家

- ・ギリシア中南部、アナトリア沿岸部を中心に成立; 植民地含め全体で 1500 程度のポリスが常時存在

▲小国分立状態: 大平野なく、統一国家形成に至らず

- ・(2) _____[(3) _____]; (4) **前 9c-前 8c**: 土地、財産確保のため、貴族の指導下に住民が移住

▲(5) _____ (城山): ポリス中心部の丘; ポリス守護神の(6) **神殿かつ城塞**

▲(7) _____ (広場): アクロポリスふもとの広場; 集会、裁判、取引など公共の機能が集中

▲(8) _____ 的性格: ポリスのために戦うことが市民の第一の義務

- ・(9) _____[aristocracy]: 前 7c 頃までの一般的形態; 少数の門閥貴族による支配

▲(10) _____: (11) **自由人**; 奴隷、土地 ((12) _____) を所有し農業を営む
女性に市民権なし

△(13) _____: 政治的な指導権を握り、ポリスの官職を独占

平民に比べ広い農地、多くの奴隷・家畜を所有

→形成された富を用いて武具、馬を所有し、(14) **騎兵**として国防担う

△(15) _____: (16) **独立自営**の中小農民

武具を自弁できる者は貴族とともに戦う

Cf.) (17) **無産市民**: 武具を自弁できず、歩兵として参戦できない市民

- ・(18) _____[slavery]: 奴隷を労働の担い手とする社会制度; 古代ギリシア・ローマが典型的

▲(19) _____: 人格を認められず、財産と同様(20) _____となる

Ex.) (21) _____ (借財の返済ができずに市民身分から転落)、戦争捕虜、異民族など

△(22) _____: 個人所有の奴隷

△国有奴隷: 警察官、下級役人などとして働く

△農奴: 市民の土地を耕作して生産物を貢納

△知的作業に従事する奴隷: 読み書きを教える

- ・(23) **メトイコイ** (在留外国人): 差別受ける (土地所有禁止など)

○(24) _____[Colonial cities] ((25) **前 8c 半ば-前 6c**) ギリシア人が各地に建設

- ・ポリス形成による社会の安定 (= 「暗黒時代」 の脱出): 人口増により(26) _____が発生

- ・本国と対等な(27) **独立国**: 土地を求める下層市民、政争に敗れた貴族らが植民

経済的には母市と関係を維持する

- ・黒海沿岸: (28) _____

(→ビザンティウム→コンスタンティノーブル→現イスタンブール)

- ・地中海岸：(29)_____ (現マルセイユ)、(30)_____ (現ナポリ)、
(31) **シラクサ**、(32) **タレントゥム**など
- ・エーゲ海岸：(33)_____ など

○ギリシア人の民族意識：ポリスは分立するが、言語と祖先は共通と考える

- ・(34)_____ (ギリシア人の自称)：英雄ヘレンの子孫 Cf.) ヘラス：ギリシア人の土地
→異民族=(35)_____ (わけのわからない言葉話すもの)：蔑称
- ・(36)_____：(37) **多神教**；(38) **人間的な神**の在り方
▲(39)_____：(40)_____ (主神)、ヘラ (ゼウスの妻)、
アポロン (太陽・芸術)、アレス (軍神)、アテナ (英知) など
▲(41) _____ [**デルフィ**] _____：アポロン神殿の巫女を通じた神託
重要な決定に際して各ポリスが神託を仰ぐ
Cf.) 隣保同盟 (アンフィクテュオニア)：複数ポリスにより神域を共同管理
Cf.) 「汝自身を知れ」：アポロン神殿に刻まれた言葉
▲(42) _____：神域オリンピア (ペロポネソス半島北西) で4年に1度開催
△(43) **体育競技** (古代オリンピック)：一切の戦いが中止され、各ポリスから参加
△4世紀に(44) **ローマ皇帝**により中止→19c末に近代オリンピックとして復活
- ・(45) **ギリシア文字** (前8c半ば～)：アルファベット；フェニキア文字に学ぶ
▲(46) **叙事詩**：ポリス形成期の文学；神々と人間との関わりを歌う
口承詩人[アオイダス]により伝えられたものがテキスト化され残存
①(47) _____ (前8c)：英雄叙事詩
△(48) _____：トロヤ戦争の物語；ギリシアの英雄アキレウス
△(49) _____：トロヤ戦争後の英雄オデュッセウスの帰還を描く
②(50) _____ (前8c)：農民詩人
△(51) _____：怠惰な弟に労働の楽しさを教える；勤労讃え貴族を批判
△(52) _____：ギリシア神話の神々を系統的な秩序にまとめる

2. 戦術の変化と貴族政の動揺

○(53) _____：武器を自弁できる平民が増加し、軍隊の主力に

- ・背景：海上交易の活発化、商工業発展
▲植民活動による海上交易の活発化：(54) _____ との交易
→(55) **イオニア地方**を中心とした商業発達：余剰生産物を売却した農民が富裕化
▲(56) **金属貨幣** 鑄造：(57) **リディア** から学ぶ (前7c後半)
▲金属製品 (青銅製の武器) の価格低下：ヨーロッパ大陸から輸入
- ・新たな戦術：密集隊形 ((58) _____) による集団戦法
→平民の軍事参加を促進；連帯感の醸成、市民間の平等意識の高まり
→平民による(59) _____ の要求：国防への参与による発言権増大の欲求が高まる